

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」評価の取扱いについて（案）

平成28年 月 日

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業委員会

1. 目的

「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」（以下「COC+」という。）の着実かつ効果的な実施に資するため、各事業の進捗状況や成果及び事業の継続・発展性の見通しなどを評価し、適切な指導・助言を行うとともにその成果を社会に公表し、全国的な波及につなげることを目的とする。

また、COC+に選定された各事業は、「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」（以下「COC」という。）の取組内容を包含しており、COCの取組内容もあわせて評価することにより、COC+を効果的に実施していく上での参考とする。

（地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の目的）

本事業は、平成25年度から「地域のための大学」として、各大学の強みを生かしつつ、大学の機能別分化を推進し、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成に取り組んできた「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」を発展させ、地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することを目的とする。

2. 対象、時期

1) 対象

COC+に選定された各事業（COC+の前身であり、COC+に包含されるCOCを含む。）を対象とする。

2) 時期

- ①平成28年度においては、COCについての評価（以下「平成28年度評価」という。）を実施する。
ただし、平成25年度又は平成26年度に採択されたCOCのうち、COC+大学又はCOC+参加校でない大学等による事業は除く。
- ②平成29年度（事業開始から3年目）においては、COC+全体の間接評価を実施する。
- ③平成32年度（事業終了後）に事後評価を実施する。

以上

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 評価及びフォローアップの全体像

【事業期間を通じた全体の流れ】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
平成27年度 COC+選定事業42件			選定	フォローアップ				
平成25年度 COC選定事業51件	選定			平成28年度 評価	中間評価	フォローアップ	フォローアップ	事後評価
平成26年度 COC選定事業25件		選定		平成28年度 評価				

※ …事業期間
 ※ …事業期間終了後

【評価体制】

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業委員会

○平成28年度評価、中間評価(平成29年度)、事後評価(平成32年度)を実施し、評価結果を大学等へ開示。

(書面評価はペーパーレフェリーが担当)

○毎年度(中間評価のある平成29年度を除く)、フォローアップ部会からフォローアップ結果の報告を受け、結果の概要を作成。

ペーパーレフェリー (事業委員会専門委員)

○28年度評価、中間評価、事後評価 において書面評価を担当

フォローアップ部会 (事業委員会のもとに設置。事業委員会委員が分属する部会長と専門委員で構成)

○毎年度(中間評価のある平成29年度を除く)フォローアップを実施し、結果を大学等へ開示、事業委員会に報告。